

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

IHG・ANA・ ホテルズグループ ジャパン

○各ホテルにて国立公園を楽しむ商品造成を実施
○特に①富士箱根伊豆国立公園、②沖縄海岸国定公園／西表石垣国立公園については、メディア向けのモニターツアーを企画・実施、各種媒体にて広く訴求を行った。その後、宿泊プランのブラッシュアップを行い、一般向けに販売を実施中。
①富士箱根伊豆国立公園
・11月8日～13に3つの日程に分けて1泊2日で複数組を案内
・サステナビリティ等との親和性の高い、メディア関係者を招待
・国立公園の魅力を体感できるプログラムの他、地産地消のエシカルダイニング体験、強羅箱根の自然・食・文化・歴史に触れるガストロノミーウォーキングなどの充実したツアーを展開
※下記写真はツアーの一部抜粋



間伐体験



間伐材箸づくり



体験トレッキング



ガストロノミーウォーキング

②沖縄海岸国定公園／西表石垣国立公園

・11月15日～19日 3泊4日
・在京有力メディアを招待し、少人数グループでのツアーを実施
・国立・国定公園の大自然、自然の恵みを受けた地産品とそれを育てる人々とのふれあい、地産地消ディナー等をふんだんに盛り込んだ企画内容を展開
※下記写真はツアーの一部抜粋

<沖縄本島>



恩納村さんご育成
プログラム体験



やんばるの森ツアー
プログラム体験

<西表島>



マングローブカヌー
ツアー＆トレッキング



ビーチクリーン

<石垣島>



島ハーブ(月桃)精油作り体験



石垣の塩工房見学

（ロゴマーク使用実績）

国立公園を体験できる各種プランのプレスリリース等での掲載

アルピコ交通 株式会社

○当社電車車内のサイネージにおいて、中部山岳国立公園南部地域プロモーション動画を放映した。

○YouTube当社公式チャンネルにて中部山岳国立公園（上高地・乗鞍・白馬）へのアクセス動画やプロモーション動画を放映した。

<https://www.youtube.com/channel/UCjae6j7KXLtnImDrooD06Q>

○Instagram当社公式アカウントから中部山岳国立公園（主に上高地・乗鞍地区）の画像を投稿。バス運行情報や公園ならではの風景などを発信した。

○松本と上高地を結ぶバスをナショナルパークライナーと命名。ロゴを配したバスマスクを装着し上高地開山中は毎日運行し、車内において中部山岳国立公園PR動画を放映した。



○松本高山Big Bridge構想実現プロジェクト構成員として参画している。有識者の助言を頂きながらテーマごと分科会で議論検討を重ねてきた。次年度ではビジョン・ストーリーの磨き上げをしつつ、計画の策定が進んでいく計画である。

○乗鞍エコライン、乗鞍スカイラインの双方の協議会により利用推進事業を展開している。この程、両道路一気通貫の利用促進事業を具体化するために立ち上がった「乗鞍岳Beyond Border Project Team」に参画。8月には「乗鞍ライチョウルート」という乗鞍岳を貫通するルート愛称が決まった。当社の各拠点でPRチラシを配布した。

（ロゴマーク使用実績）

当社ホームページにおいてロゴを用いパートナーシップの締結と取り組み内容について紹介している。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 石井スポーツ	○山を愛する全ての方々が、「より安全に」「より快適に」登山を楽しんでいただくために、「石井スポーツ登山学校」を実施。 この登山学校実技プログラムにて国立公園内の山域で実施の場合は、参加者に国立公園の取り組みを紹介 （ロゴマーク使用実績） 弊社ＨＰのトピック欄で締結について掲載し、国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを使用
公益社団法人 伊勢志摩観光 コンベンション 機構	○訪日旅行再開に向けて国内ランドオペレーターを招請 海外への情報発信として各種媒体メディアを招請 ※エージェント、メディア、オンライン等含む ○中部国際空港と連携したファムトリップの開催 ○当機構公式サイト「伊勢志摩観光ナビ」内の特集記事に、環境省により作成された動画を掲載した。 また、SNS公式アカウントで特集記事を周知しＰＲを行った。 ○伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会と連携し、国立公園を活かしたコンテンツの情報発信、周知活動を行った。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

ANA X 株式会社

○国立公園を含むコースやオプションプランをパンフレットに掲載。



○パンフレット裏面にパートナーロゴを掲載しパートナーをPR。



○ANAウェブ情報サイト「Japan Travel Planner」（日／英）において、国立公園を特集として紹介。

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/japan-travel-planner/national-park/>

既存サイトに国立公園ロゴの掲載、テキストのリバイス、環境省サイト『国立公園へ、行ってみよう！』へのリンクを行った。



SGホールディングス 株式会社

○訪日外国人観光客や国内の観光客、ビジネス客向けに手荷物預かりやホテル即日配達などの手ぶら観光サービスを提供する、佐川急便のサービスセンターを中心に、パンフレットを設置・配布することで国立公園の魅力を発信。

○当社ホームページ上の「国立公園オフィシャルパートナー」特設サイトにおいて、満喫プロジェクト8公園を紹介し、国立公園の魅力や情報を発信。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/park/>

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

奥ジャパン 株式会社	○国境閉鎖が継続しているため、国内向けツアーへ完全シフト。熊野古道地域の国内向けツアー造成、販売。 （ロゴマーク使用実績） 国内向けとインバウンド向け両方のホームページに使用。
有限会社 尾瀬小屋	○尾瀬小屋は国立公園で食べる【山小屋グルメ】を考案し、【食べる】というアクションを通して、国立公園の魅力や課題発信を行った。 【魅力発信】：「山でこんなご馳走が食べられるの？」そんな驚きと感動の料理を国立公園内で提供出来る環境を構築。国立公園に隣接する地元の食材をふんだんに料理に取り入れる事で、国立公園を支える地元の魅力発信の役割も兼ね備えている。 【課題発信】：山岳国立公園の山小屋への物資輸送は、ヘリコプターか歩荷（ボッカ）と呼ばれる人力輸送のみとなる。しかし、相次ぐヘリコプター会社の山岳輸送撤退や若手のパイロット不足、運搬費用の高騰、歩荷さんの存続危機など、深刻な課題に直面している。そうした課題を食べ物を通して利用者に現状を知ってもらい、一人一人が出来る事を考え、国立公園の持続可能な社会にする事を目標としている。 ○国立公園の魅力を子供達へ伝える活動を行った。 児童養護施設や、不登校の学校へ出向き国立公園を支える山小屋事業者、歴史、課題、魅力を映像や写真を通して授業を行った。又、子供達への環境教育を行う為の準備として、児童養護施設の園長先生を視察誘致を行った。 ○国立公園に人気ユーチューバーを誘致。 （ロゴマーク使用実績） 弊社のホームページにてパートナーシップロゴを使用。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

小田急電鉄株式会社	○訪日外国人旅行者向けに販売している富士箱根周遊券の案内パンフレットに国立公園オフィシャルパートナーロゴを記載するとともに、富士箱根伊豆国立公園の情報を紹介。小田急旅行センターで配布するとともに当社グローバルサイト（https://www.odakyu.jp/english/passes/fujihakone/）でも公開した。 また、外国Webメディア（タイ： https://go-graph.com/fuji-hakone-pass/）による当該周遊券を使ったモデルコースを公開し、国立公園の魅力発信に取り組んだ。 （ロゴマーク使用実績）  
鹿児島銀行株式会社	○霧島市観光協会が採択した『環境省「国立公園への誘客推進事業」』について、2020年、2021年に事業実施支援を行った。 ＜支援内容＞ ① 事業の企画・提案 ② 実施体制の構築支援 ③ モデルコース調査支援 ④ モニターツアー参加事業者招聘 ・弊行本店内の商業施設「よかど鹿児島」にて「国立公園写真コンテスト」の告知チラシを設置 ・他県金融機関と連携した事業者の紹介 宮崎銀行と連携し、霧島市とえびの市の観光事業者様の引き合わせを実施 （ロゴマーク使用実績） ・九州フィナンシャルグループのホームページにて 「国立公園オフィシャルパートナー」ロゴ掲載。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

○①オウンドメディア・北東北の楽しい暮らしを提案するエリアマガジン『rakra（ラ・クラ）』にて、三陸復興国立公園の魅力を伝え、トレイルへの興味喚起を狙い、「みちのく潮風トレイル」を舞台とした小説＆フォト『潮風の速さはどれくらい』の連載を開始。vol.108（令和3年10月25日発行号）とvol.109（12月25日発行号）にて各5ページのストーリーと、その物語中のトレイルルートの説明として1ページを掲載。国立公園オフィシャルパートナーである旨の明示と国立公園オフィシャルパートナーのロゴマークも掲載した。

（下記画像はvol.109実績。vol.108も同量の展開）



○②オウンドメディア・東北「道の駅」公式マガジン『おでかけ・みちこ』にて、アクティブレンジャーおよびNPO法人みちのくトレイルクラブと連携して、記事『三陸復興国立公園・みちのく潮風トレイルを歩きに行こう！』をvol.38（令和3年9月25日発行号）とvol.39（12月25日発行号）にて各1ページ掲載した。



○③前述②と連動するWEBマガジン『まいにち・みちこ』にて、契約ライター2名の投稿記事として「みちのく潮風トレイル」関連を8月より発信開始。計23本公開した。



<https://my-michi.com/mymichist/8740444/>



<https://my-michi.com/mymichist/87304101/>

川口印刷工業
株式会社

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

2021年9月14日 国立公園オフィシャルパートナーシップ締結。

○Youtube公式チャンネル及び、公式ホームページ等のインターネットアプリケーションを用いた国立公園の魅力発信に関する広報活動 上信越高原国立公園（草津温泉）、中部山岳国立公園（平湯・上高地）において、12月に実施した離着陸試験の映像及び、風景映像を元に動画作成を行った。現在、弊社公式Youtubeに掲載するため、社内申請を実施している。

○国立公園1ヵ所と東京を1時間で結ぶ移動サービスの実証実験 中部山岳国立公園（平湯・上高地）において、地域の関係者様、関係事業者様に対して、弊社活動についてご説明し、ご理解を頂くことが出来た。その上で、10月より、現地調査及び国交省への申請手続等を実施した。12月9日に、実証実験し、安全・安心に離着陸できることを確認した。また、同日、弊社の取組に関する説明・見学の機会を設けた。



川崎重工業
株式会社

○弊社の国立公園オフィシャルパートナーシップにおける取組に関する広報活動
2021年12月の実証実験の成果を得て、プレスリリース記事の作成及び、取材 調整を実施した。
2月上旬に掲載予定。

1月 航空新聞社WING様（航空宇宙業界/旅行業界専門誌）の取材において、弊社の取組について説明。

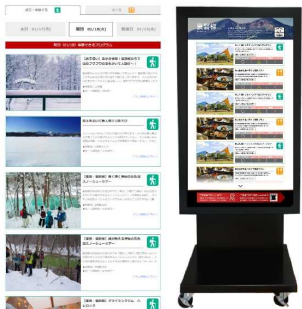
1月 日本経済新聞社様の取材（1月末～2月上旬取材予定）

2月 弊社ホームページにてプレスリリース（1月現在、社内申請中）

（ロゴマーク使用実績）

全社の名刺認証マークに登録した。印刷時に希望する社員が使用している。（選択制）

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

Camping with Soul Japan 株式会社	国立公園内もしくは国立公園への起点となる場所でのグランピング事業の新規プロデュース。 前年度までにモニターツアーを実施した国立公園グランピング施設、企画の継続的なサポート及び事業化の支援。 在日英国人をモニターツアーに招待し、インバウンド強化に向けたツアーのブラッシュアップ。 ■新規 ・ グランスクープ瀬戸内海(瀬戸内海国立公園/トヨタコニックプロ株式会社) ※10月より企画に参加、1月に実証実験を終了 内容:大串半島のキャンプ場を活用し、地元の食や伝統工芸のワークショップを取り入れたグランピングツアーの開発 ・ ホースステイグランピング(戸隠妙高連山国立公園/一般社団法人 CW ニコルアファンの森財団) 内容:野尻湖でのホーストレッキングと、森林セラピーを組み合わせたグランピングツアーの開発、インバウンド向け動画作成 ・ 石垣島グランピングツアー(石垣西表国立公園/ボタリング沖縄) 等 内容:赤土流出を防ぐための植樹や海岸清掃、e-バイクアクティビティーなどの環境保全とグランピングを組み合わせたツアーの開発 ■継続 ・ wondertrunk experience KAGURA(大山隠岐国立公園/株式会社 wondertrunk & co.) 内容:株式会社 wondertrunk & co.が企画するツアーの物品供給 ・ アソビハック西表(石垣西表国立公園/合同会社上地プロパン) 内容:西表島初のグランピング施設への物品供給、インバウンド向け動画作成 (ロゴマーク使用実績) 名刺、新HPへの掲載
一般財団法人 休暇村協会	○ワーケーション推進補助事業を活用し、国立公園の8事業所において「絶景×リゾート×ワーク」をテーマにした「リゾワテラス」をオープン。（裏磐梯、那須、嬬恋鹿沢、妙高、南伊豆、蒜山高原、瀬戸内東予、指宿） 国立公園ならではの絶景を見ながら仕事が行える特別な空間を提供している。  リゾワテラス裏磐梯  リゾワテラス妙高  リゾワテラス蒜山高原  リゾワテラス瀬戸内東予 ○滞在型ツアー推進補助事業を活用し、裏磐梯において滞在中の旅行者向けに、当日や翌日に体験可能なアクティビティを予約できるシステム「タビナカマッチ裏磐梯」をオープンした。旅行者自身でのスマートフォンからの予約だけでなく、高齢者などインターネットが使えない旅行者は、参画宿泊施設のフロントや裏磐梯観光協会に相談すれば予約や支払いまで完了することが可能なツアーデスクの仕組みを備え、この取組みには、磐梯朝日国立公園内裏磐梯エリアのアクティビティ事業者や宿泊施設が15事業者以上参画している。 ○その他、国立公園内のリゾートである休暇村のフロントにオフィシャルパートナーシップの締結書を掲示し、パートナー企業であることを広くPRしている。 (ロゴマーク使用実績) ○休暇村が発行する会員向け会報誌「倶楽部Q」を年4回発行、約30万部/回に使用。 ○営業活動で使用する各種資料やニュースリリースに使用。 ○休暇村で作成するチラシ類に使用。 ○全従業員の名刺に使用 

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

近鉄グループ ホールディングス 株式会社	○国立公園を要する地域を紹介するリーフレット・ホームページにオフィシャルパートナーのロゴマークを掲載。 ・伊勢・鳥羽・志摩スーパーパスポート“まわりゃんせ” ・伊勢神宮参拝きっぷ ・こころふたび吉野山 ・近鉄レールパス ・Kintetsu Rail Network Map   ○近鉄・伊勢志摩ワーケーション 伊勢志摩国立公園内に立地するリゾートホテル「都リゾート 奥志摩 アクアフォレスト」においてワーケーションを実施。 伊勢志摩の海、山に囲まれた自然豊かな独立コテージ棟をベースに、ホテル本館内のワークスペースや専用通信回線等の環境整備を実施し、テレワーク等の新しい働き方に対応している。

株式会社 ぐるなび

OLIVE JAPAN PERFECT GUIDE（訪日外国人向けワンストップガイドサービス）にて、国立公園の魅力を国内外へ紹介、発信

○国立公園の魅力をLIVE JAPAN記事にて多言語で紹介
（英語・繁体字・簡体字・韓国語・日本語）

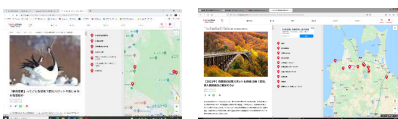
北海道エリアの記事を掲載。新型コロナ禍の影響で、現地取材ができなかったエリアについては、最新の情報更新のアップデートを実施

<https://livejapan.com/ja/in-hokkaido/in-pref-hokkaido/in-kushiro/article-a1000093/>

https://livejapan.com/ja/in-hokkaido/in-pref-hokkaido/in-furano_biei_soukyo/article-a1000368/

https://livejapan.com/ja/in-tohoku/in-pref-aomori/in-aomori_hirosaki_hachinohe/article-a3000122/

<https://livejapan.com/ja/in-tohoku/in-pref-yamagata/in-yamagata-suburbs/article-a3000158/>



○国立公園、国定公園のデータベース提供に基づき施設ページを作成
（英語・繁体字・簡体字・韓国語・日本語）

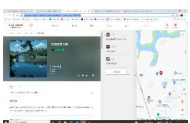
知床国立公園、網走国定公園、大沼国定公園、大沼国定公園の体験紹介及び、予約サイトとの連携

<https://livejapan.com/ja/in-hokkaido/in-pref-hokkaido/in-shiretoko/spot-lj0007785/>

<https://livejapan.com/ja/in-hokkaido/in-pref-hokkaido/in-abashiri/spot-lj0008190/>



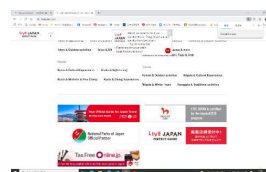
<https://livejapan.com/ja/in-hokkaido/in-pref-hokkaido/in-hakodate/spot-lj0008100/>



（ロゴマーク使用実績）

LIVE JAPAN PERFECT GUIDE（訪日外国人向けワンストップガイドサービス）ページにて、ロゴマークの掲載、環境省ページへの誘導（日本語、多言語）

<https://livejapan.com/>



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

KNT-CT ホールディングス 株式会社

○1)【Jリーグ×国立公園事業】

①松本山雅FC×中部山岳国立公園

→乗鞍高原を舞台にJクラブと一緒に楽しむオリジナルアトラクションや公園ガイドと楽しむネイチャートレッキングを融合したモニターツアーを実施。終了後にはスタジアムでゲーム観戦を組み合わせる新たなスポーツツーリズムの形の実証を行った。



②ガイナレ鳥取×大山隠岐国立公園

→ガイナレ鳥取が取り組む「復活！公園遊び」の舞台を国立公園に置き換えて家族での自然体験やオリジナルアクティビティとして1泊2日のモニターツアーを実施。クラブとしても今後の新たな収益事業として今後教育事業展開などのスケールも並行して検討していく。

※参考：

<https://www.gainare.co.jp/hometown/koenasobi/>



○2)【ONSENガストロノミー×国立公園事業】

①ONSEN・ガストロノミー×五島市（西海国立公園）

→同ツーリズムコンセプトの少人数・高付加価値型の滞在型ツアーとしてテスト販売を実施。事業を通じて地域ステークホルダーと連携して新たなコンテンツ開発（漁師体験や公園エリアの自然トレッキング等）や磨き上げを行い来期以降も継続して販売予定。



②ONSEN・ガストロノミー×長期滞在（暮らすような旅）×糸島市（玄海国立公園）

→現地の課題である宿泊滞在コンテンツやパッケージの開発を目的に同ツーリズムコンセプトにCTが展開する長期滞在ブランド「暮らすような旅」とコラボレーションしたモニターツアーを実施実証。



○3)近畿日本ツーリスト株式会社ホームページ（旅行商品販売サイト）にて日本の国立公園特集ページを掲載エリアや見たい景色や体験したいアクティビティによって国立公園を提案。

※参考：

<https://www.knt.co.jp/meito/sp/nationalpark/?ar=shutoken>



○4)学生団体の送客

○5)プロモーション・モニターツアーの実施

①「国立公園を活用した東アジア誘客プロモーション」（1）メディア招請事業・映像制作・純広告

②国立公園での滞在型ツアー推進事業

③令和3年度国立公園満喫プロジェクト国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム運営支援等業務

④小林まちづくり(株)/環境省国立公園滞在型ツアー推進事業

⑤吉野熊野国立公園大台ヶ原モニターツアー

⑥「東アジア国立公園活用誘客プロモーション」(2)旅行会社招請・セミナー(BtoC)・純広告

⑦おきのえらぶ島観光協会/環境省国立公園コンテンツ創出事業

（ロゴマーク使用実績）



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）
2022年1月時点

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 ゴールドウィン	○THE NORTH FACEブランドによる国立公園モニターツアーの運営（富士箱根伊豆国立公園/アウトドア専門媒体5社） ○特にアウトドア指向の強い国内・海外客が多い原宿3店舗、知床・ニセコ・白馬・立山・松本・石垣の9店舗にて国立公園認知向上の為にパンフレット配布 ○上記店舗での国立公園の保全や適正利用のための啓発にかかる情報媒体を設置・配布 ○南アルプス国立公園、秩父多摩甲斐国立公園内（北杜市内）の登山道整備イベントの実施（年2回） ○南アルプス国立公園への玄関口となる、茅野駅～甲斐駒ヶ岳登山口の二次交通整備協力（MOUNTAIN TAXI） ○上高地公式ウェブサイトにて安全登山の啓蒙活動としてコーディネートページ協力 ○富山、長野、岐阜、北海道の各警察山岳救助隊に対して活動ウェアの製作

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 山陰合同銀行	○【取組1】 ディスクロージャー誌での国立公園・自然公園等の景勝地絵画を表紙として掲載 障がい者の自立支援・社会参加支援として当行が2007年に開所した「ごうぎんチャレンジまつえ（※1）」で就労する知的障がい者の方々がもつ芸術的能力を活かし、国立公園等景勝地の風景画を、当行が発行するミニディスクロージャー誌等へ掲載するとともに、オフィシャルパートナーとして取り組んでいることを明記。 （その他、統合報告書2021、サステナビリティレポートでも紹介） ※1「ごうぎんチャレンジまつえ」ご参照WEBサイト https://www.gogin.co.jp/about/csr/challenged/ ○【取組2】 定期預金商品と連携した国立公園保全支援と機運醸成の取り組み 2021年12月より開始した「ごうぎんワクワク定期預金キャンペーン（※2）」において、お預入総額の0.01%（上限100万円）を一般社団法人 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会を通じ、大山隠岐国立公園と山陰海岸国立公園の保全団体へ寄付する定期預金商品を山陰地域のお客様を中心に提供。預入期間は2022年3月末までで、寄付金額は当行負担で実施予定。 ※2「ごうぎんワクワク定期預金キャンペーン」ご参照WEBサイト https://www.gogin.co.jp/lp/wakuwakuteikicp_2021/ ○【取組3】 山陰両県内での森林保全活動 従来より取り組んでいる森林保全活動について、山陰両県の計6か所「ごうぎん希望の森（※3）」において森林保全活動を実施。直接的な国立公園内ではないが、周辺地域の森林保全活動として、国立公園オフィシャルパートナーシップに関連する活動として位置付けている。 併せて、山陰両県内で環境保全活動に取り組む団体（NPO等）の情報交換や活動の連携などを目指して組織している「森林（もり）を守ろう！山陰ネットワーク会議（※3）」（事務局：当行）の会員に対して、当行の国立公園オフィシャルパートナーシップ締結の趣旨等を情報提供し、環境保全に対するより一層の機運の醸成を図った。 ※3「ごうぎん希望の森」等に関連するWEBサイト： https://www.gogin.co.jp/about/csr/forest/ ○【取組4】（外部機関の取組協力） 「令和3年度自然公園を活用した誘客促進補助金（島根県事業）」へのご協力 自然公園等の保全と活用を図ることを目的に島根県が行う事業に対し、審査委員として参画し、県内の誘客促進事業への支援を間接的に実施。 （ロゴマーク使用実績） ○当行の統合報告書ならびに地域金融機関として初となる「サステナビリティレポート」において、オフィシャルパートナーシップ締結にかかる情報・ロゴマークを記載し、ステークホルダー等へ配布およびWEBサイトへ掲載。 ○外部会議ならびに研修・セミナー等での資料へ掲載しオフィシャルパートナーシップ関連の情報提供および国立公園等保護・活用について紹介。
------------------------	---

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社JTB

○取組 1、環境省×JTB による国立公園コンテンツの高付加価値化へ向けた取組について（現地視察）

- ① 2021年6月23日～24日 **霧島錦江湾国立公園**
- ② 2021年7月06日～07日 **上信越高原国立公園&妙高戸隠連山国立公園**
- ③ 2021年7月13日～14日 **足摺宇和海国立公園**

※現地視察に伴う事前オンラインMTGも各地で複数回実施。

〈参加者〉

環境省、自治体、地元事業者（宿泊・観光事業者）

J T B



○取組 2、JTB募集型企画旅行「旬感日本」における国立公園を舞台にした商品造成の取組について（2021上期&下期・2022上期）

「知的好奇心に触れる旅」をテーマに、個人旅行でありながら各訪問地でプライベートガイドが地域の見どころを案内してくれる富裕層向けツアー。全国各地のコース設定があるが国立公園を含むコースも複数あり。2022年度には蜜回避・地域分散・自然回避といった観点で、アフターコロナにおいて一番回復が早いと言われるアドベンチャーツーリズム（AT）をテーマにしたコースを2つの国立公園を舞台に企画・実施。



○取組 3、全フライトJTBの特別チャーター便でご案内する「JTBアイランドホッピング」～九州五大世界遺産ライン（吉岐・五島列島・屋久島・奄美大島）の取組

新たな九州離島観光の形を実現すべく、長崎と鹿児島県の地域航空会社のご協力をいただき実現した特別チャーターツアー。定期便では実現不可能な「西海国立公園」「屋久島国立公園」「奄美群島国立公園」の3つの国立公園を効率よく回ることが出来る。



※その他：全国各地でコース設定されている添乗員同行のエスコートツアーや各種体験等を楽しむオプションツアーについても国立公園を舞台にしたプランが複数あり。

例）添乗員同行エスコートツアー 例）全国設定されているオプションプラン



（ロゴマーク使用実績）

取組 1 における日本の旬キャンペーンBOOKの表4頁においてオフィシャルパートナーロゴ掲載

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

一般社団法人 四国ツーリズム 創造機構	○環境省が作成した国立公園の動画について、当機構のホームページへ掲載。 https://shikoku-tourism.com/videos ○環境省が実施する国立公園でのファムツアーについて当機構も連携した（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）。 ○環境省の「令和２年度（補正予算）国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業」補助金を活用し、瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園（及び剣山国定公園、石鎚国定公園）などで、ワーケーションのモニターツアーを実施した（新型コロナウイルス感染症の感染拡大により室戸阿南海岸国定公園では現地調査のみの実施となった）。 ○環境省中国四国地方環境事務所四国事務所がモンベル高松店で開催した「四国の瀬戸内海国立公園展」を、当機構ホームページ上の観光客向け新着ニュースとして情報発信した。 （ロゴマーク使用実績） 当機構ホームページに常時掲載する。 https://shikoku-tourism.com/ （→ https://www.env.go.jp/park/へ遷移）
四国旅客鉄道 株式会社	○広報誌「ＪＲ四国ニュース」で国立公園内の観光スポットを紹介し、国立公園利用者の拡大を図った。 ※ＪＲ四国ニュースは四国内の主要駅で配布のほか、当社ホームページで閲覧可能 ○インバウンド向けの鉄道フリーきっぷ「ALL SHIKOKU Rail Pass」パンフレット内の地図に、「瀬戸内海国立公園」「足摺宇和海国立公園」を明示し、国立公園のＰＲに努めた。 ※パンフレットは、当社ページで閲覧可能 （ロゴマーク使用実績） ・当社ホームページにロゴマークが入った「国立公園オフィシャルパートナー」バナーを掲載し、国立公園ホームページにリンクさせることで国立公園の認知度向上に努めた。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

首都高速道路 株式会社	○ドライブ情報誌『首都高じゃらん夏号』にて日光周辺をドライブで楽しむ特集記事を掲載し、「日光国立公園」を紹介した。 WEB：2021年6月1日公開 誌面：2021年6月10日発行   （ロゴマーク使用実績） ・上記の取組の中で使用
スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社	○新宿御苑内店舗における国立公園の情報発信（パンフレット設置） 新宿御苑で開催された菊花壇展において、店舗テラスにも飾り 店舗を利用される方々に情報を伝えるとともに、楽しんでいただいた。

株式会社
スペースキー

〇１）阿寒摩周国立公園 キャンプ場をベースとした国立公園の楽しみ方を発信

町の2／3が阿寒摩周国立公園である弟子屈町内に位置し、環境省の直轄野営場の1つRECAMP和琴を拠点とし、国立公園内でのキャンプ・カヌー・サイクリング・ハイキング・グルメを組み合わせた楽しみ方を、キャンプ情報メディアCAMP HACKに掲載。
道内だけでなく首都圏からの飛行機での来訪を意識し、キャンプ機材持ち込み不要な2泊3日のモデルコースとして紹介。

・キャンプだけじゃもったいない！北海道・屈斜路湖をベースに遊び尽くす2泊3日（写真は記事より一部抜粋）

<https://camphack.nap-camp.com/7109>



〇２）大雪山国立公園 ワークションモニター参加とSNSを活用した魅力発信

大雪山国立公園、トムラウシ山を擁する新得町のワークションプランにモニターとして参加し、InstagramのYAMA HACK編集部アカウントから、滞在を通じて体感した大雪山国立公園の魅力発信を実施。

・YAMA HACK編集部アカウントより以下3投稿を実施

①新得町のトレッキング

https://www.instagram.com/p/CVSH4CcPzGb/?utm_source=ig_web_copy_link

②新得町グランピングドーム

https://www.instagram.com/p/CVU1Lcrvgks/?utm_source=ig_web_copy_link

③新得町クマの爪痕

https://www.instagram.com/p/CVU2PevvWcy/?utm_source=ig_web_copy_link



〇３）大山隠岐国立公園 「とりキャン」鳥取県のキャンプ場の魅力発信

鳥取県（観光戦略課）が事業主体となり連携して事業遂行。コロナ禍において注目の高いキャンプを切り口とした新たな客層を開拓し、鳥取県の観光客の増加に繋げるため、鳥取でのキャンプ「とりキャン」の魅力発信を行うことにより、キャンプ滞在に留まらない県内観光地等の周遊を促進するとともに、地域への消費拡大を促進。

3-1) 県内約40施設のキャンプ場を掲載するキャンプ場情報サイト「とりキャン」をリリース。また、「とりキャン」と連動した「とりキャンMAP」を県内道の駅等にて配布。



3-2) キャンプ＋観光の周遊促進策としてSNSを活用した「とりキャンフォトラリー」を実施。



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

住友林業 株式会社	○希少種の増殖、遺伝的多様性の解析の基礎調査 植物の希少種など弊社技術が生かせるターゲット、調査対象を絞り込み、環境省や有識者と情報交換を継続。調査対象絞り込みの基礎調査を実施中。
全日本空輸 株式会社	○グループ会社であるANAX株式会社の国立公園を含む旅行商品造成及びANAウェブ情報サイトであるJapan Travel Planner における国立公園の紹介に対する支援。 https://www.ana.co.jp/ja/jp/japan-travel-planner/national-park/ ○「やんばる国立公園」外来植物防除活動のグループ社員ボランティア企画。 2月、7月に実施を計画するもコロナ禍により中止。 （ロゴマーク使用実績） ANAX株式会社のパンフレットにおいてロゴ掲載によるパートナーシップ契約のPRを実施。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

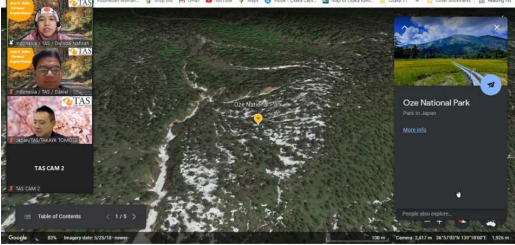
株式会社 総合サービス	○1. 国立公園との取組の強化 ①霧島錦江湾国立公園での携帯トイレネットワーク拡大 （ロゴマーク使用実績）※下記2種共昨年からの継続内容 ○1. 弊社HPにおける国立公園オフィシャルパートナーである旨の明示及び当ロゴマークの掲載（昨年から継続） ○2. 携帯トイレマナーのぼり・社員名刺にて当ロゴ使用 各地で配布PR
一般社団法人 地域未来企画	○当法人の社員である株式会社阪急交通社に対して大雪山国立公園を有する北海道東川町を紹介し、オフィシャルパートナーシップ協定を締結する際のサポート的役割を果たした。 （ロゴマーク使用実績） ホームページおよび名刺にロゴマーク掲載 

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 Challenge Outdoor	○2021年にオフィシャルパートナーにならせていただき、自社HPの更新を進めている。2022年3月のOPENを目指し、鋭意作成中。 ○西表石垣国立公園において、一般社団法人石垣島米原海岸自然保護協会と一緒に、「旅行中のCO2削減と海岸清掃や珊瑚を守る活動をセットにした自然を考えるサステナブルツーリズムモデルコースの造成事業」を実施。 ○カレンダーの配布 （ロゴマーク使用実績） ○自社HPへの掲載 ○自社名刺への掲載 ○自社概要への掲載
中部国際空港 株式会社	○第1ターミナル4階イベントプラザの大画面媒体「SORAビジョン」にて、国立公園の3分PR動画を放映。 ○セントレアウェブサイトにおいて、「国立公園満喫プロジェクト」の記事リンク又はバナーを掲載。 【日本語：記事リンク】 https://www.centrair.jp/special/campaign/soratabi/ 【多言語：バナー】 https://www.centrair.jp/en/tourist-information/ https://www.centrair.jp/zh/tourist-information/ https://www.centrair.jp/tzh/tourist-information/ https://www.centrair.jp/ko/tourist-information/ （ロゴマーク使用実績） ○国立公園の3分PR動画 ○セントレアウェブサイト（多言語）の「国立公園満喫プロジェクト」のバナー

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

株式会社 ティ・エ・エス	○11月にNPO法人 片品・山と森の学校と協働で実施した、東南アジア向け尾瀬・片品E-BIKEオンラインツアーにて、尾瀬国立公園を紹介した。  （ロゴマーク使用実績） 自社Webページにおいて国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを使用。
東急株式会社	○THE ROYAL EXPRESSにて富士箱根伊豆国立公園エリアおよび北海道の各国立公園への送客 ○横浜駅所在のTHE ROYAL CAFÉやTHE ROYAL LOUNGE、 下田・寝姿山所在のTHE ROYAL HOUSEにて 富士箱根伊豆国立公園エリアのパンフ等を設置し、魅力発信 （ロゴマーク使用実績） 東急HPへの掲出

東京カメラ部 株式会社

○YouTubeでの国立公園を特集する動画の配信
弊社公式YouTubeチャンネルにて「写真で見る国立公園」シリーズを配信。
国立公園所長、写真家、弊社代表の対談形式で、国立公園内の撮影スポット、撮影のコツをご紹介します。
国立公園の魅力や写真撮影のノウハウだけでなく、登山初心者にも気軽に行けるスポットや、撮影時の安全対策等も視聴者にお伝えしている。
第一弾として大山隠岐国立公園（全3回）、第二弾として中部山岳国立公園（全3回）を配信。
弊社SNSアカウント（Instagram、Facebook、Twitter計135万フォロワー）にて動画の告知投稿を実施。



大山隠岐国立公園
<https://youtu.be/igfRffB1KwM>
中部山岳国立公園
https://youtu.be/OnTy_xm7KUw

<https://www.instagram.com/p/CWIW72IMyBg/>

（ロゴマーク使用実績）
配信動画に掲載、弊社ホームページ及び名刺に記載

東武鉄道 株式会社

○環境配慮型・観光MaaS（NIKKO MaaS）の導入



○季節に応じた各種誘客イベントの実施
（例）

奥日光星空観賞ナイトクルーズ（中禅寺湖遊覧船）

<https://www.tobu.co.jp/cms-pdf/releases/20211028141618SIMDNH4N2zJB-hNOrH1aaw.pdf>

日光の自然と文化を満喫するアドベンチャーツアー

（R2年度国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業）

https://tobutoptours.jp/shop/3962/nikko_adventure/

（ロゴマーク使用実績）
ニュースリリースへの掲載（2021/11/4付「日光・鬼怒川エリアで
鉄道輸送における実質再生可能エネルギー100%を実現します！」）
<https://www.tobu.co.jp/cms-pdf/releases/20211104140403JVaAsFEjtD0b2sbv1Oqadg.pdf>

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

東武トップツアーズ 株式会社

○当社の商品販売webサイトにおいて、オフィシャルパートナーである旨と、国立公園周辺のおすすめ宿泊施設情報を掲載した特集ページを作成した。



○国立公園を擁する地域の旅行パンフレットにオフィシャルパートナーのロゴマークを掲示し、パートナー企業であることを広くPRした。



○InstagramなどのSNSの当社公式アカウントより国立公園に含まれる観光スポットについて投稿を行い、魅力発信を図った。



（ロゴマーク使用実績）
上記特集ページ、パンフレットに掲載

中日本高速道 路株式会社

○一般財団法人休暇村協会と連携し、『速旅・休暇村宿泊商品券付ドライブプラン』をこれまで販売してきたが、gotoトラベル事業の開始に伴い、2020.9.17以降販売を停止しており、販売再開時期については、現在調整中。

○エリア・コンシェルジュにおいて、お客さまから周辺観光地の問い合わせがあった場合、状況に応じて周辺の国立公園を案内。

例）伊勢自動車道 安濃SAでは国立公園“伊勢志摩”の観光地を紹介

（ロゴマーク使用実績）
ONEXCO中日本公式WEBサイト（日本語、英語、中国語、韓国語）に、国立公園オフィシャルパートナーシップのバナーを設置。

<https://www.c-nexco.co.jp/corporate/>

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

名古屋鉄道 株式会社	【名古屋鉄道】 ○昇龍道フリーパスきっぷにおける販促物におけるロゴマークの使用 ○WEBサイト等における新穂高ロープウェイ等の記事配信 ○Facebookにおける立山の記事配信等 【名鉄バス】 ○富士五湖線：名鉄バスWEBサイトにてロゴマークの使用 ○上高地線：名鉄バスWEBサイト、チラシにてロゴマークの使用 【名鉄観光バス】 ○国立公園を含めたコース設定・催行 ○ロゴマークの掲出 【奥飛観光開発】 ○濃飛バスと共同で新穂高・上高地2大パノラマツアーを催行（4～10月） ○濃飛バスと共同で新穂高・上高地トレッキングきっぷを販売（10～11月） （ロゴマーク使用実績） 各種媒体（HPやチラシ等）について、 別添資料を参照 
一般社団法人 ナショナルパーク スジャパン	○阿寒摩周国立公園・川湯エコミュージアムセンター内での国立公園の魅力を配信するコンシェルジュカフェの運営に2019年より取り組んでおり、2020年以降に川湯エコミュージアムセンターでの、タビナカ手配や国立公園全体の旅行手配等が可能なナショナルパークツーリズム構想に参画できるように準備する予定でしたが、長引くコロナ禍の中、感染拡大防止を徹底しながらの運営に努めている。今後も、コロナの状況を注視しながらならざるを得ませんが、アフターコロナに向け、旅行者に国立公園の魅力を伝えるコンシェルジュサービス等も検討したいと考えている。また、引き続き、自走した民間委託事業を成立させること、その収益の一部を国立公園の保護・維持に使う、循環型エコシステムモデルの構築を目指したいと考えている。 ○長野県・大阪観光局らとともに弊団体が事務局となり、2050ゼロカーボン達成を目的とする「日本みどりのプロジェクト推進協議会」において、加盟自治体・民間企業とともに活動を行なっている。国立・国定公園等の自然環境を保全するとともに上質化を図り、持続可能な利用を推進していくNational Parkプロジェクトの推進や、神戸大学などの学術パートナーらとの産官学連携により、地域循環・自然共生社会の推進に資する研究の社会実装を進めている。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

成田国際空港株式会社	○第1ターミナルビルビジターサービスセンターにおいて、国立公園のPR映像を放映  （ロゴマーク使用実績） 観光情報サイト「TOKYO NARITA JAPAN EXPLORER」内に掲載している国立公園サイトバナーとしてロゴを使用 ※令和3年3月31日に閉鎖されたため、成田国際空港公式Webサイトでのロゴ使用について調整中 

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

○観光地や高速道路のサービスエリアに設置したQRコードを読み取りデジタルスタンプを集めて、抽選で名産品が当たる「お国じまんカードラリー」で、山陰海岸国立公園をごじまんスポットに選定。併せてコレクション用のオリジナルカードも設置

（GO！JIMANカード）



○NEXCO西日本の高速道路やSA・PAの情報、西日本地域のお得な情報などをお届けするモバイル情報誌「遊悠West」で、国立公園にある観光スポット等を紹介
 ≪クルマでめぐる冒険2021年8月16日更新≫
 大山の麓で絶景＆グランピングを満喫（大山杵水高原）



西日本高速道路
株式会社

○高速道路のドライブパス（周遊割引）の申込専用サイト「みち旅」で国立公園の写真を掲載

- 関西地域：円月島（吉野熊野国立公園）
- 中国地域：鳥取砂丘（山陰海岸国立公園）
- 四国地域：父母ヶ浜（瀬戸内海国立公園）
- 九州地域：雲仙地獄（雲仙天草国立公園）
由布岳（阿蘇くじゅう国立公園）



雲仙地獄（長崎県／諫早ICから約60分）



由布岳（大分県／湯布院ICから約20分）

- 国立公園コンテンツ集及びリーフレットをSA/PAに設置
- ・徳島道上板SA（下り）国立公園コンテンツ集（A4冊子）
- ・高松道豊浜SA（下り）国立公園コンテンツ集（A4冊子）
- ・松山道石鎚山SA（上り）瀬戸内海国立公園及び足摺宇和海国立公園リーフレット
- ・高知道立川PA（下り）足摺宇和海国立公園リーフレット

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

日産自動車 株式会社	○阿蘇市の協力により、令和3年4月1日からEVで阿蘇くじゅう国立公園内及び周辺地域の観光スポットを訪れた際の優遇施策の設定を行い、観光スポットやEV優遇特典などをまとめたドライブマップ形式のチラシを作成し販売店等で広く配布したり、阿蘇くじゅう国立公園やそれを有する阿蘇市の魅力を伝える動画を作成するなどして、SNSを通じて広くPRを実施した。 https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/210325-02-j  ○全国第一号のゼロカーボンパーク 中部山岳国立公園 乗鞍高原地域でのキャンプミーティングの様子を発信 乗鞍山麓に広がる乗鞍高原の原生林や湿原、個性的な滝などのダイナミックな自然、サステナブルな取り組みを、キャンプを通じて五感で感じてもらうためのイベントに参画。電気自動車の展示・試乗を行う他、リーフから給電された電気で、コーヒー豆をひいたりお湯を沸かしたりという給電デモを実施した。 https://ev2.nissan.co.jp/BLOG/691/ https://twitter.com/NissanJP/status/1459083168200343553?cxt=HHwWgoCqpaaa2r8oAAAA  （ロゴマーク使用実績） ブルースイッチ総合トップページに記載。 https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology/blue-switch.html
有限会社 ニーハイメディア・ ジャパン	○ツアーイベント「PAPERSKY Tour de Nippon」で、国立公園を含む地域でのイベントを予定していたが、コロナの影響で延期となった。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

公益社団法人 日本アロマ 環境協会

○環境カオリスト検定公式テキスト内への国立公園掲載

○環境カオリスト公式Instagram、フェイスブックでの国立公園のご紹介



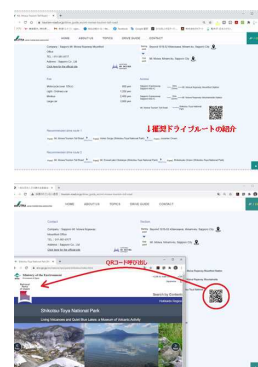
一般社団法人 日本観光 自動車道協会

○多言語化の推進

協会ウェブサイトの多言語化（英語のみ）リニューアル以降、着実にアクセス数が伸びている。特に、各観光自動車道の最寄りの国立公園やその周辺のコンテンツを観光自動車道で結ぶ推奨ドライブルート提案と、国立公園ウェブサイト呼び出しができるQRコードを掲載した各観光自動車道ページへのアクセスが好調である。

【実施例（藻岩山の例）】

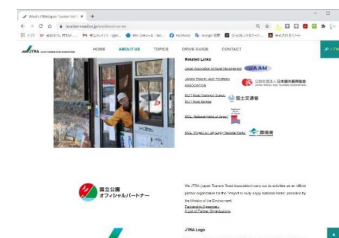
https://tourism-road.or.jp/drive_guide_en/mt-moiwa-tourism-toll-road



○オフィシャルパートナーロゴマークの掲載

協会ウェブサイト内の「協会について／About Us」ページにおいて、オフィシャルパートナーシップ締結団体である旨を表記し、環境省国立公園ウェブサイトへのリンクとロゴマークを掲出。

<https://tourism-road.or.jp/en/about-us-en>



○誘客イベントの開催

有料道路と周辺の国立・国定公園をつなぐ周遊型利用を促進するため、スタンプラリーイベントと、同時開催でフォトコンテストを企画・開催した。全国展開に先駆けて関西地区で先行試行した。



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 日本旅行

○JRセットプランカーボンゼロ（滋賀県・長野県にて展開）

【事業概要】

弊社の赤い風船商品、JRセットプランにオプションとして、カーボンオフセットプランを付与した商品を発売した

【具体的な取組】

旅行者がJRセットプランの移動距離に応じて、オプションを購入する。そのオプションの販売累計額に応じて、弊社が自治体のJクレジットを購入し、その資金が、自治体の森林保全活動につながり、保全された森林が、新幹線の移動により排出された分のCO2を吸収するという循環型の仕組。

○Go Greenプロジェクト in 長野（環境省予算事業・長野県）

【事業概要】

2021年10月23日～24日、国立・国定公園の「保護と利用の好循環」をテーマに、長野県の4つの国立公園エリア（後述）を舞台としたサステナブルツーリズムの普及啓発イベントを実施した

【具体的な取組】

下記、4つの国立・国定公園エリアにて、地域の課題解決のためのサステナブルツアー案を「Z世代」の大学生・高校生と共に考案した。

1. 中部山岳国立公園（松本市・乗鞍）
CO2排出削減、地産地消を極めた「究極のサステナブルツアー」の考案
2. 妙高戸隠連山国立公園（信濃町）
森林セラピープログラムの若い世代への普及
3. 上信越高原国立公園（須坂市・峰の原）
峰の原地区・草原保全活動の維持・継承
4. 八ヶ岳中信高原国定公園（茅野市）
森林との共生（森林資源の適切な利用・管理）

○八重山ビーチクリーンプロジェクト（石垣島・西表島）

【事業概要】

西表石垣国立公園の海洋プラスチック漂着問題の解決に向けた取組み。繊維商社と連携し、ビーチクリーン活動で回収したペットボトルゴミを繊維に変え、洋服や雑貨などを制作し販売する取組みを行う。参加者に海洋プラスチックゴミ問題を認知していただくとともに、体験後、環境配慮行動への実践を促す。

※ビーチクリーンイベントを2022年1月28日～30日で実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインにて実施。次年度以降にリアルイベントを実施していく。

【具体的な取組】

石垣島、西表島の2つのビーチにて漂着した海洋プラスチックゴミの回収（ビーチクリーン）を実施。回収したゴミからペットボトル抽出し、専門業者の協力を得て集約。繊維商社の協力を得て回収したペットボトルを繊維に変える。その繊維を利用し、Tシャツ、雑貨を制作する。

○阿蘇の草原維持を考えるワーケーション検証実験（熊本県阿蘇市）

【事業概要】

2021年11月～12月にかけて、阿蘇くじゅう国立公園内にて当社社員がワーケーションを行った。草原でアクティビティを体験する傍ら、「草原面積の減少」という地域課題を知り、観光を通じて貢献できることを議論した。今後、草原再生・保全にちなんだ商品を造成していく予定。あわせて阿蘇市が展開するEV車特典を体験し、商品づくりに生かしていく。

【具体的な取組】

5～6名を1班として他部門合同のワーケーションを行った。実際に持ち出しで仕事をする事で、受け入れ施設・地域の課題、ワーケーションを推進していく上での社内規定の課題等を抽出した。また、商品展開するための課題等も議論した。

（ロゴマーク使用実績）

○JRセットプランカーボンゼロ

赤い風船商品のパンフレットに、ロゴマークを使用させて頂いた

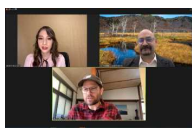
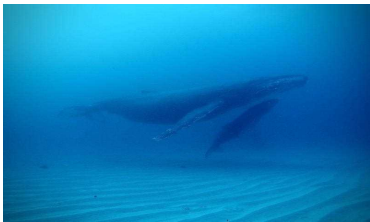
○Go Greenプロジェクト in 長野

イベント参加学生向け説明会の資料にロゴマークを使用させて頂いた



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 日本国際放送	○文化庁の日本博事業・企画展「国立公園 -その自然には、物語がある-」連携事業と関連して、下記の各種プロモーションを実施。 ①英語番組シリーズ「At One with Nature: National Parks of Japan」を制作し、国際放送チャンネルNHKワールドJAPANにて世界160の国と地域、3億世帯以上に向けて放送を実施。2021年度は伊勢志摩国立公園（初回放送：2021年8月1日）、阿蘇くじゅう国立公園（初回放送：2021年11月5日）を特集した。 参考：https://www.jibtv.com/programs/at_one_with_nature/   ②2020年に国立科学博物館で開催された企画展「国立公園 -その自然には、物語がある-」と連動した巡回展として、国立公園の絶景を8K画質の超高精細映像で視聴体験できるシアターを搭載したキャラバンカーによるイベントを開催。（開催地：新宿御苑、京都御苑、那須高原ビジターセンター 等）   ③外務省の対外発信拠点JAPAN HOUSE LAにて、2021年9月11日～11月28日の期間で日本の国立公園を紹介する展示を実施。また、展示と連動して、日本に関心を持つ米国在住者を対象としたウェビナーを開催。国立公園利用推進室の岡野室長をはじめ、トラベル・ライフスタイル誌「PAPER SKY」編集長のルーカスBB氏、伊勢志摩国立公園の特集番組でリポーターを務めたレミ・ダンカン氏にご出演いただき、日本の国立公園の魅力発信を行った。   
特別非営利 活動法人 Nature Service	○下記ページ及び番組での国立公園の映像の提供。 株式会社テレビ朝日 ドラえもん 空からタケコプターで見てみよう 株式会社千代田ラフト NHK-WORLD JAPAN 株式会社千代田ラフト 国立公園の歩き方～伊勢志摩国立公園～ 自然環境局国立公園利用推進室 省内の大臣会見にて使用 株式会社テレビ朝日 帰れマンデー見っけ隊！！ ○福島県で開催された「ふくしまグリーン復興推進協議会・シンポジウム」での講演に登壇しキャンプ場のリニューアルやワーケーション拠点整備の事例を紹介。 ○小笠原にて、水中ドローンの撮影業務を行った。  

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

一般社団法人 ネイチャーホスピ タリティ協会

○ナショナルパーク検定について、第1回目(磐梯朝日国立公園と霧島錦江湾国立公園)の講座(2022年3月)と検定試験(2022年4月)の実施に向け準備(ホームページの作成、講座講師陣の選定・事前デモンストレーションの実施、PR記事の調整)。
旅行読売2022年2月号



記者会見を2022年2月9日(水)に予定（リリースは、1月26日(水)に予定）。

○ナショナルパークサミットについては、環境省の補助を受けて雲仙天草国立公園（雲仙市）と三陸復興国立公園（みちのく潮風トレイル：岩手県普代村）において試行的に開催（普代村はオンライン開催）

（ロゴマーク使用実績）
下記協会HPにて使用
<https://nature-hospitality.or.jp/>

濃飛乗合自動車 株式会社

令和2年度補正 国立公園での滞在型ツアー推進事業 活用

- 定期観光バス 新穂高・上高地 2 大パノラマ1Day Tourを運行：7月、8月で45日間
- 定期観光バス 乗鞍・上高地2大パノラマ1Day Tourを運行：10月で6日間
- 定期観光バス 新穂高ロープウェイ星空観賞便を運行：8月、9月、11月で14日間
- 乗鞍ライチョウルート通り抜けモニターツアーを企画実施：9月、10月で3日間

独自にて実施

- 定期観光バス 新穂高・上高地 2 大パノラマ1Day Tourを運行：4月、5月、6月、9月、10月 45日間
- 定期観光バス 乗鞍・上高地2大パノラマ1Day Tourを運行：7月、8月、9月で48日間
- 定期観光バス 新穂高ロープウェイ星空観賞便を運行：5月で8日間
- 各バスターミナルに国立公園の紹介パンフレットを設置
中部山岳国立公園：高山濃飛バスセンター・平湯バスターミナル
白山国立公園：高山濃飛バスセンター・白川郷バスターミナル
- 中部山岳国立公園南部地域利用促進協議会にて作成したポスター
（The Birth Place of Japanese Alps）を掲出
平湯バスターミナル・アルプス街道平湯・高山濃飛バスセンター
オフィシャルパートナー企業と共同して実施
- 共同先：新穂高ロープウェイ（名古屋鉄道株式会社）
バス乗車券（平湯温泉～新穂高ロープウェイ、上高地～平湯温泉間の片道乗車券とロープウェイ片道乗車券をセットした「新穂高・上高地トレッキングきっぷ」）を発売。
- 共同先：東海旅客鉄道株式会社（JR東海）
JR東海の実施する「さわやかウォーキング」を平湯温泉にて開催：5/8（土）
- 共同先：山と渓谷社・岐阜県
災害復旧が完了した乗鞍スカイラインを使用し乗鞍岳を登山した方にスタンプラリーを実施しピンバッジを配布

（ロゴマーク使用実績）
○定期観光バス案内リーフレット
○乗鞍ライチョウルート通り抜けモニターツアー募集チラシ
○自社ウェブサイト
○自社バス時刻表

株式会社 パシュート

○国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業に採択され、妙高戸隠連山国立公園を活用したファムトリップを令和3年10月26日～27日に開催した。（※当初、テストマーケティングを実施する予定だったが、コロナウイルス感染症の影響により、時期およびファムトリップへ変更）

- ・事業用WEBサイトの構築（<https://www.npcp.jp/>）
- ・アクティビティの定期開催（令和3年7月22日～10月31日）
- ・地域課題貢献コンテンツの実施（令和3年10月27日）
- ・自然環境保護の啓蒙活動を目的に、冊子「目指せ！国立公園博士」を作成（下記、冊子表紙画像）。以下の場所で配布をおこなった。
 - ・アソモビ（<https://asomobi.com/>）
 - ・環境省長野事務所
 - ・環境省
 - ・雨飾高原キャンプ場
 - ・長野県小谷村商工観光課



○ワーケーションの実施に係る事業に採択され、妙高戸隠連山国立公園内に位置する「雨飾高原キャンプ場」を活用したファムトリップを開催した。

- ・アウトドアオフィス環境の整備
- ・村外企業に対しSDGs活動の参加促進
- ・下記メディアにて、情報発信
 - ・キャンプ情報メディア-LANTERN-
 - ・車と旅の情報サイト-MobilityStory-
 - ・小谷村観光情報サイト「おたり日和」



○国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業に採択され、妙高戸隠連山国立公園の訪日外国人利用を目的としたコンテンツ造成をおこなった。

- ・当事業WEBサイトを多言語仕様で構築し、運用を開始（<https://www.otari-amakazari.com/>）
- ・動画コンテンツの制作



- （ロゴマーク使用実績）
- 全従業員の名刺に使用
 - コーポレートサイトおよび運営メディア内での掲出
 - プレスリリースでの掲出

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 阪急交通社

○国立公園近辺の長期滞在旅行商品の造成と催行。
知床、阿寒摩周、釧路湿原、十和田八幡平、磐梯朝日、富士箱根伊豆、
上信越高原、妙高戸隠連山、中部山岳、西表石垣



○北海道東川町(大雪山国立公園)とオフィシャルパートナーシップ協定を締結。(11月)

（ロゴマーク使用実績）
弊社ホームページに掲載

阪神高速道路 株式会社

○阪神高速管内のパーキングエリアにて国立公園のPR映像を放映。

○会社HPドライバーズサイトおでかけ情報ページにて、国立公園オフィシャルサイトHPをリンク
阪神高速道路株式会社 ドライバーズサイト
<https://www.hanshin-exp.co.jp/drivers/hiwayguide/>

（ロゴマーク使用実績）
会社HPにおいて、オフィシャルパートナーである旨の明示及び
国立公園オフィシャルパートナーロゴマークの掲載

阪神高速道路株式会社 企業情報サイト
https://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/kouken/post_4.html

ホーム > 阪神高速の取り組み > 環境にやさしく、地域・社会とともに > 国立公園オフィシャルパートナー



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

BOJ株式会社	○弊社SNS（Instagram, Facebook, LinkedIn）を活用した国立公園および公園内のコンテンツ訴求（宿泊施設は体験アクティビティなど） ○ツアーやアクティビティ、文化体験プログラムの造成に向けた現地視察およびアドバイザー業務 ○国立公園事務所と連携して現地情報を収集し、訪日外国人旅行者へ国立公園を組み込んだ旅程の造成、海外の旅行会社への提案
東日本旅客鉄道株式会社	○グループ会社と共に、「国立公園の絶景×絶品フレンチ『浄土平 天空のガストロノミー』」を企画した（コロナウイルスの影響により実施は見送りとなった）。 https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210726_ho02.pdf 磐梯朝日国立公園「福島・浄土平」において、国立公園の大自然を五感で堪能しながら、浄土平レストハウスを貸し切りにしたプレミアムディナーや星空演奏会、星空観賞会を体験できるイベントを企画した。また、浄土平の魅力をより感じられるよう、浄土平ビジターセンターと浄土平天文台を特別貸し切りにした専属スタッフによる解説付きの自然散策も予定していた。これらの観光コンテンツの提供により非日常の体験を創出することで、国立公園の新たな魅力を訴求した。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 肥後銀行	○国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業を活用した、滞在型ライドツアーを大分銀行・OitaMade・くまもとDMCと連携して企画 ○国立公園の景観活用と脱炭素化への取組として、プロサイクルチームスパークル大分によるガイド付きサイクルツアー及びグランピングイベントを開催したもの ・2021.11.20（土）～21（日）の計2日間 ・大分県と熊本県に跨るコースを設定したことにより、両県の相互誘客と大分・熊本県外からの誘客も図り、魅力発信を行った （ロゴマーク使用実績） ・九州フィナンシャルグループHP内パートナーシップ紹介 https://www.kyushu-fg.co.jp/csr/partnership/

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

一般財団法人 VISITはちのへ

○ 1 三陸復興国立公園の魅力発信

1-1 現地エージェントを通じた情報発信

・イギリス・フランス・台湾に現地エージェンシーを配置し、現地メディア、旅行会社等に対して、三陸復興国立公園種差海岸の自然、体験コンテンツ等情報提供等を実施。

1-2 台湾をターゲットとした情報発信

・（株）八幡平DMO等と連携し、日本在住のインフルエンサーを招聘。そのインフルエンサーの招聘行程へ同公園無島・種差海岸を組み込むことで台湾をターゲットとした情報発信を実施。



1-3 同公園の魅力発信のための動画作成及びYoutubeでの発信

無島・種差海岸・階上岳の魅力を発信するための動画を作成、当団体の公式Youtubeにて発信。

1-4 同公園を国内外に売り込むためのBtoB向けセールスツールの製作

「令和3年度三陸復興国立公園種差海岸階上岳地域セールスツール製作業務」にて、当団体は完成物となるセールスツールの利用者となることから、効果的なツールとなるよう、協力者として協働中。

1-5 同公園の魅力的な商品サービスの一元的な情報発信（WEB充実）

環境省直轄事業「令和3年度三陸復興国立公園種差海岸階上岳地域一元的情報発信強化業務」にて、当団体のWEBサイト（国立公園内のコンテンツページ）の充実を図る。当団体のWEBサイトを充実させるという性質上、協力者として協働中。

○ 2 三陸復興国立公園の利用者拡大

2-1 体験コンテンツ等オンライン上で利用者へ届けるプラットフォームの運用

・昨年構築した地域内の体験コンテンツ、宿泊、飲食、地域産品等幅広い分野の商品・サービスの情報収集・予約購入を旅行前からオンライン上で一元的に行うことができるプラットフォームについての運用。
＜プラットフォームに掲載された商品例＞



2-2 三陸復興国立公園種差海岸階上岳地域利用促進プログラム策定

環境省直轄事業「令和3年度三陸復興国立公園種差海岸階上岳地域利用促進プログラム策定業務」にて、地域一体となって一層の観光客誘致を進めていくために必要な、地域共通の観光ビジョン及びビジョン達成に向けたロードマップを策定中。当地域の観光地域づくり法人として当団体は素案作成から参画。

○ 3 パートナーシップについてのPRの実施

・当団体HPにて、同公園の魅力、また、同公園内で民間事業者が実施する体験メニュー等商品・サービスを紹介。また、同HP内にパートナーシップロゴを掲載しPRに努めた。

＜当団体HP＞



（ロゴマーク使用実績）

当団体HP（同パートナーシップ協定締結PR）へ使用



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 プリンスホテル	○2021年9月1日 ザ・プリンス箱根芦ノ湖のwebに、新コンテンツを追加した。 「富士箱根伊豆国立公園×ザ・プリンス箱根芦ノ湖 雄大な大自然を満喫するおすすめの過ごし方」 https://www.princehotels.co.jp/hakone-area/outdoor/ 
学校法人 峯徳学園	○埼玉学園大学・川口短期大学の観光系科目11科目において3回の特別講義を実施した。 さらに、川口短期大学の観光系ゼミ生が10月8日に秩父多摩甲斐国立公園・三峰ビジターセンターへのフィールドワークを実施し、現地にて秩父環境管理事務所専門官より1時間の特別レクチャーを受け、その成果を大学祭（10月23日開催）にてゼミの研究発表として発表した。 また、本学学生においては環境省関東地方環境事務所の管轄する関東の国立公園のひとつである富士山箱根伊豆国立公園の「箱根温泉」への関心が高いことから箱根温泉旅館ホテル協同組合・箱根DMOとの交流を経て「夏季箱根温泉インターンシップ」が実現し、両大学の学生13名が夏休みの2-3週間、高級和式旅館4軒の受入による本格的なおもてなし現場研修を実施し、自然保護とともに観光促進のためのホスピタリティの現場を体験するに至った。 ○フィールドワークの実施報告として、川口短期大学公式サイトNEWS&TOPICSに掲出しPRとした。活動の報告として地元新聞である埼玉新聞コラム「経世在民」にて5月11日、12月21日の2回投稿して掲載し、購読している県内住民や教育機関向けに公開した。 また、公式ツイッターでは、夏季箱根温泉インターンシップの様子、フィールドワークの様子を随時発信し、フォロワーの増加につながった。 ○コロナ禍によりインバウンド需要が消滅している現状では情報発信サイトへの多言語化提案はタイムリーではないと判断し実行できなかったが、フィールドワークの実施により、秩父多摩甲斐国立公園への認知向上と理解の促進には役立てた。 （ロゴマーク使用実績） 特別授業内・オープンキャンパス模擬授業での説明資料へのロゴマークの掲出を積極的に行ったほか、大学の公式ウェブサイト上に掲出した。 ○国立公園オフィシャルパートナーシップ締結式 https://www.kawaguchi.ac.jp/news/news-2021031001/ ○秩父多摩甲斐国立公園フィールドワークの実施 https://www.kawaguchi.ac.jp/about-us/research_activities/research_activities_business/news-2021102101/

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

北陸鉄道 株式会社

- ① 白山登山バス（金沢駅～市ノ瀬間）の運行
令和3年7月10日～10月11日の間
- ② 立山周辺ツアーバスの運行
令和3年5月29日～11月3日の間
「立山雪の大谷ウォーク」など6コースを設定
- （ロゴマーク使用実績）
- 当社ホームページにロゴを活用してパートナーシップ締結と取組内容を紹介
- 当社ホームページの白山登山バス時刻用に掲出
- 立山周辺ツアーバスの募集チラシに掲出

本州四国連絡 高速道路株式会社

- 瀬戸内地域の魅力を紹介するマガジン『瀬戸マーレ』において、瀬戸内海国立公園の見どころを一箇所ずつ紹介。（2018年春号より。年4回発行）



（2021年夏号より「掬星台」を紹介）

- 『本州四国連絡高速道路 S A P A ご案内（高速道路ガイド）』の路線地図面に国立公園区域を明示。（2018年4月～）



- 当社の事務所及び管理するサービスエリア・パーキングエリア内のチラシスタンドにて、瀬戸内海国立公園及び足摺宇和海国立公園のリーフレットを設置。（2018年6月～）

- （ロゴマーク使用実績）
- 瀬戸マーレ、本州四国連絡高速道路 S A P A ご案内（高速道路ガイド）等当社出版物において表示。

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 マップル	○国立公園に関して、主に一般利用者にとって有効性の高い情報を整理・選定し、翌年度に実施するデータ整備計画を検討・策定した。 ○全国の国立公園のうち、「吉野熊野国立公園」について、DIGJAPAN！Facebookにて投稿拡散し、海外ファン層への魅力発信と認知度アップを図った。 英語 https://www.facebook.com/digjapan.en/posts/2738508606445902 繁体字 https://www.facebook.com/mapple.tw/posts/2426450120821516 ○併せて、弊社運営するインバウンドWEBメディア「DiG JAPAN!」へ記事転載を行い、ロゴを使用しオフィシャルパートナーであることが伝わる内容として紹介した。 日本語 https://digjapan.travel/blog/id=12516 英語 https://digjapan.travel/en/blog/id=12516 繁体字 https://digjapan.travel/zh_tw/blog/id=12516 （ロゴマーク使用実績） ○自社HPにてお知らせとしてオフィシャルパートナー登録締結を告知  ○自社インバウンドメディア「DiGJAPAN!」記事にてロゴ使用。 （吉野熊野国立公園記事内英語、繁体字、日本語で表示）
三井不動産 株式会社	○運営するホテル・商業施設等の施設及び関連ホームページ等における国立公園紹介動画・パンフレット提出等による国立公園の情報発信 ○NEMU RESORTにおける国立公園を満喫するアクティビティ・ツアーの検討・提案など、施設内及びホームページにおける国立公園の魅力発信 ○NEMU RESORTホームページにおける国立公園オフィシャルパートナーである旨の明示および国立公園オフィシャルパートナーロゴマークの掲載

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 宮崎銀行	○環境省補助事業の情報提供、採択（事業者：自然公園財団えびの支部）。 ○えびの市の地域事業者と共に、霧島地域でのe-bike 太陽光充電の実証実験施設の視察実施。 霧島の地域事業者、鹿児島銀行との四者会議を開催。 ○同会議において、霧島錦江湾国立公園における誘客コンテンツについての検討、協議。
名鉄観光 サービス 株式会社	○全国各地の宿泊・募集型企画旅行の販売に取り組み、国立公園が含まれるエリアの販売促進を行った。 ○中部地方においては着地型旅行商品の「みつけたび中部」を発売し、中部山岳国立公園、伊勢志摩国立公園、白山国立公園、妙高戸隠連山国立公園への商品の販促を行った。 また全国各地への登山・ハイキングの募集型企画旅行の販売に取り組み、中部山岳、南アルプス、尾瀬、上信越高原など多くの国立公園へ訪れる商品の販促を行った。 ○WEBサイトおよびSNSによる情報発信 4月から登山・トレッキングに特化したマイクロサイトを開設し、国立公園をはじめ各地の登山エリアの紹介を行った。また各地の国立公園を訪れた登山ツアーの様子をSNS（Facebook）で発信し、情報の拡散を行った。 はじめての登山・トレッキングガイド【公式】 https://guide.mwt.co.jp/mountain/about-mwt/ 

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 山と溪谷社	○雑誌『山と溪谷』において、中部山岳国立公園を中心に国立公園内の登山情報を掲載 https://www.yamakei.co.jp/products/2821901567.html ○WEBメディア『ヤマケイオンライン』において、国立公園内の登山情報を発信 https://www.yamakei-online.com/ ○インバウンドWEBメディア『HIKES IN JAPAN』（英語）で国立公園内の登山情報を発信。 https://hikesin japan.yamakei-online.com/ ○富士箱根伊豆国立公園のPRとして『富士山ブック』の発刊 https://www.yamakei.co.jp/products/2820907400.html ○中部山岳国立公園のPRとして乗鞍岳登頂記念スタンプラリーを実施 https://www.yamakei-online.com/yk/issue/gifu2021/ ○十和田八幡平国立公園のPRとして『ヤマケイオンライン』にて八幡平、三ツ石山の紅葉ハイク特設ページ開設 https://www.yamakei-online.com/yk/issue/hachimantai-autumn/ ○尾瀬国立公園のPRとして『ヤマケイオンライン』にてふくしま尾瀬の特設ページ開設、YouTubeチャンネル『山と溪谷Ch.』で動画公開、オンラインイベント開催など実施 https://www.yamakei-online.com/yk/issue/fukushima-oze2021/ ○環境省事業 中部山岳国立公園のPRとして『山と溪谷』にて特集「中部山岳国立公園が先駆ける 国立公園の未来像とは?」を掲載 
株式会社 やまどころ	○トリップアドバイザー内の国立公園ページにおける掲載事業者等からの問い合わせ窓口の設置 （ロゴマーク使用実績） ・名刺へのロゴ掲出

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

AIGLE
(株式会社ラコステ
ジャパン)

○Ⅰ.国立公園オフィシャルパートナーシップ締結についての報告

1.AIGLEウェブサイト上ニュースページでの報告と掲載

<https://www.aigle.co.jp/topics/article/107>

2. AIGLE顧客様を中心としたメンバークラブ会員向けメルマガでの報告



○Ⅱ 阿蘇くじゅう国立公園内グランピング施設、「グランピングリゾートASO」特別プランへの協賛 およびそのPR

※特別プラン詳細：<https://asoglamping.com/specialplan>

- 1.グランピング施設スタッフへのAIGLEラバーブーツ、アパレルなどの物品提供
- 2.グランピング特別プランでの宿泊者へのAIGLEノベルティグッズの提供



- 3.グランピング特別プランで提供しているアクティビティ、Chamitsulle BAKES & HERBSでのAIGLE規格外ラバーブーツをアップサイクル利用したハーブ苗植えワークショップの実施
- 4.グランピングリゾートASO特別プラン、阿蘇くじゅう国立公園を紹介するデジタルコンテンツ（写真と文章で構成の旅行記、ムービー）の制作

https://www.aigle.co.jp/campaign/glamping_in_aso

5.4の制作コンテンツの告知・拡散

i) AIGLE顧客様を中心としたメンバークラブ会員向けメルマガ配信

ii) AIGLE Japan SNSでのポスト、拡散

6.各メディアでのグランピング阿蘇特別プラン、阿蘇くじゅう国立公園を紹介する記事、ニュースのリリース

i) HOUYHNHNMによる阿蘇取材体験記事

<https://www.houyhnnm.jp/news/542362/>



ii) SPUR.JPタイアップ記事にニュース掲載

https://spur.hpplus.jp/fashion/special/a01_aigle2110/area04/



iii) ELLEONLINEタイアップ記事にニュース掲載

<https://www.elle.com/jp/pr-stories/promotion/g37615634/f-aigle-2110/>



（ロゴマーク使用実績）

1.AIGLEウェブサイト上CSR活動実績ページへの掲載

<https://www.aigle.co.jp/campaign/csr>

2.AIGLEウェブサイト上ニュースページへの掲載

<https://www.aigle.co.jp/topics/article/107>

3.AIGLEウェブサイト上グランピングASO協賛特別プラン紹介ページへの掲載



国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順） （2022年1月時点）

株式会社 Recamp

○国立公園内の運営施設でワーケーション対応可能レンタル品の提供

■対象地

阿寒摩周国立公園・RECAMP和琴（和琴野営場）・RECAMP砂湯（砂湯野営場）
富士箱根伊豆国立公園・RECAMP山中湖・レイクロッジヤマナカ・本栖湖SUMIKACAMPFIELD

■レンタル品（一部の例）

・アウトドアデスク・チェア・外部モニター・モバイルバッテリー・wifiルーター

■「グランピングワーケーションin阿寒摩周」として

・焚火、薪割り体験セット・テントサウナ体験セットの導入

○地域との連携

■富士箱根伊豆国立公園内に「RECAMP山中湖」を開業

山中湖村の山中湖・平野旅館民宿組合・アウトドア部会を設立し富士山を望む
未活用のテニスコートやグラウンドをキャンプ場に転換約70区画とトイレ、炊事場を整備

※1 RECAMP 山中湖 開業リリース



■阿寒摩周国立公園RECAMP和琴・和琴園地その他において地域事業者と連携し
冬季の魅力再発見を目的としたデイクャンプモニターツアーを実施

2021年2月13日（土）・22日（月）14日（日）・23日（火・祝）

- ・早朝の樹氷トレッキング
- ・屈斜路湖畔の温泉と極寒を体験するスノーシュー体験
- ・アイスクラフト体験
- ・アウトドア料理体験
- ・テントサウナ体験

<https://www.recamp.co.jp/news210127>

※2 和琴園地におけるデイクャンプツアー



○オンライン予約・決裁の推進

国立公園内の運営施設で施設でキャンプ場予約サイト「なっぷ」による全予約を事前予約・オンライン決済にする、またはオンライン予約・決済に特典付きプランの販売強化をした。

（ロゴマーク使用実績）

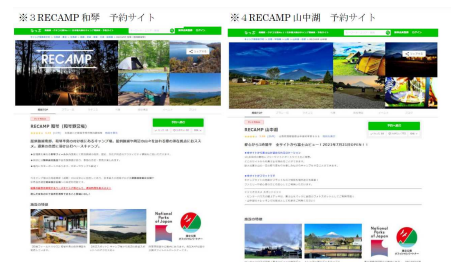
○国立公園内の施設のWEBサイト（キャンプ場予約サイト「なっぷ」）での国立公園ロゴ、国立公園オフィシャルパートナーロゴマークを掲載した。

RECAMP和琴

<https://www.nap-camp.com/hokkaido/14159>

RECAMP山中湖

<https://www.nap-camp.com/yamanashi/14585>



○弊社従業員の名刺に国立公園ロゴを掲載約50名が利用

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

立命館アジア太平洋大学	○レンジャーと学生のオンラインミーティング ○長者原（くじゅう地域）へのフィールドトリップ https://kyushu.env.go.jp/blog/aso/index.html ○「環境学入門」講義にてレンジャーによるゲストレクチャーの講義 ○ソーシャルメディアによる発信(ビデオ作成中) ○子供向けのカードゲームの作成(現在作成中) ○「ユネスコ活動を通じて阿蘇くじゅう国立公園の自然の魅力を知ろう」プロジェクトへの学生派遣 （ロゴマーク使用実績） ウェブサイトに掲出中 https://www.apu.ac.jp/home/news/article/?storyid=3069
レ・クレドール ジャパン	2021年も引き続き海外から来日されるお客様が無かったため、対面で国立公園のご紹介は叶わなかったが、下記の取組を行った。 ○国立公園とその周辺の観光や伝統文化等を繋げ、日本と各公園の魅力を発信できるような取組みをレ・クレドール ジャパンのSNS上で始めた。 その際、レ・クレドール ジャパンがオフィシャルパートナーと明記している。  ○2021年2月の定例会の際、雲仙天草国立公園のご担当者にオンラインでご参加をいただき、メンバー向けに国立公園の説明やアクティビティの紹介をしていただいた。 （ロゴマーク使用実績） レ・クレドール ジャパンのウェブサイト上 http://www.lescledorsdorjapan.com/jp/

国立公園オフィシャルパートナーシップ取組一覧（五十音順）

（2022年1月時点）

株式会社 wondertrunk &co.	○大山隠岐国立公園 三瓶山西の原地区において2021年7月21日から11月30日までグランピングおよび屋外石見神楽公演イベントを実施した。 今年は、大田市内の地元飲食店・3店舗と連携して日替わりでポップアップレストランを設置。 宿泊者は、大自然の中でのバーベキューか地元食材を使用した季節の料理を選択できるよう工夫しお客様の満足度を高めた。 昨年に続き、新聞社やテレビ局などで地元メディアに露出することができたが、今期はBSフジやYahooニュースでも取り上げられるなど、大山隠岐国立公園での取り組みを全国のメディア媒体でも露出することに成功した。 山陰中央新報：https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/63960 山陰中央テレビ： https://www.facebook.com/watch/?v=2142037205937236 